

**第 104 回 電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会**  
**2019 年第 2 回 電気学会 電磁界理論技術委員会**  
**合同委員会議事録**

日時：2019 年 5 月 24 日（金）15:30 ～ 17:00

場所：東京都立産業技術高等専門学校 品川キャンパス 大会議室

出席者：

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会

廣瀬 委員長（東京大），平山 新委員長（北見工大），出口 新副委員長（同志社大），黒木 幹事（都立産技高専），渡辺 幹事（福工大），鈴木 新幹事（首都大），杉坂 幹事補佐（北見工大），尾崎 委員（日本大），後藤 委員（防衛大），藤田 委員（富士通）

電気学会 電磁界理論技術委員会

後藤 委員長（防衛大），黒木 幹事（都立産技高専），尾崎 委員（日本大），川口 委員（室工大），杉坂 委員（北見工大），田中 委員（岐阜大），出口 委員（同志社大），森本 委員（近畿大）

議題：

1. 第 103 回電磁界理論研究専門委員会・2019 年第 1 回電磁界理論技術委員会 合同委員会議事録（案）

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会

2. 平成 30 年度研究専門委員会活動費等収支決算報告
3. 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号（2020 年 1 月号）について
4. 2019 年 5 月電磁界理論研究会の終了報告
5. 2019 年度総合大会エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について
6. 2019（令和元）年度電磁界理論研究専門委員会活動計画
7. 2021 年以降の 1 月合同研究会（光関係合同研究会）について
8. 令和元年度電磁界理論研究専門委員会構成

電気学会 電磁界理論技術委員会

9. 電気学会電磁界理論技術委員会の研究会開催回数について
10. EMT シンポジウム特別講演の講師について
11. 2019 年度 電気学会電磁界理論技術委員会名簿

資料：

No.104-1 第103回電磁界理論研究専門委員会・2019年第1回電磁界理論技術委員会  
合同委員会議事録

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会

No.104-2 平成30年度研究専門委員会出納帳

No.104-3 平成30年度研究専門委員会会場費申請書

No.104-4 電子情報通信学会英文論文誌C小特集号(2020年1月号)について

No.104-5 2019年5月電磁界理論研究会の終了報告

No.104-6 2019年度総合大会エレクトロニクスソサイエティ  
学生奨励賞候補者の推薦について

No.104-7 2019年度電磁界理論研究会活動(報告と計画)

No.104-8 2021年以降の1月合同研究会について

No.104-9 平成31年度電磁界理論研究専門委員会構成(案)

電気学会 電磁界理論技術委員会

No.2019-ETC2-1 電気学会電磁界理論技術委員会の研究会開催回数について

No.2019-ETC2-2 第48回電磁界理論シンポジウム特別講演の講師について

No.2019-ETC2-3 2019年度電気学会電磁界理論技術委員会名簿

## **共通議題 議事**

### **1. 第 103 回電磁界理論研究専門委員会議事録の確認**

廣瀬委員長より資料 No. 104-1 に基づき前回議事録の確認があり、承認された。

## **電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会 議事**

### **2. 平成 30 年度研究専門委員会活動費等収支決算報告**

杉坂幹事補佐より、資料 No.104-2 に基づき、2018 年度研究専門委員会活動費収支決算報告について説明がなされた。決算報告は電子情報通信学会事務局に受理されたとの報告がなされた。続いて、資料 No.104-3 に基づき、2019 年度の研究会、研専委員会の会場費申請額について説明がなされた。2019 年度の活動費、会場費、昨年度からの繰越額が研専口座に振り込み済みとの報告がなされ、決算と併せて承認された。

### **3. 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号（2020 年 1 月号）について**

黒木幹事より、資料 No.104-4 に基づき、2020 年 1 月の英文論文誌 C 小特集号について、概略と編集委員会、今後のスケジュールの説明がなされた。例年通りフルペーパーとブリーフペーパーで募集を行い、5 編の投稿があったとの報告がなされた。来年は投稿数の増加へ向けて、委員メンバーからの積極的な投稿が呼びかけられた。

### **4. 2019 年 5 月電磁界理論研究会の終了報告**

黒木幹事より、資料 No.104-5 に基づき、2019 年 5 月の電磁界理論研究会の終了報告がなされた。今回は都立産技高専で開催され、通信学会から 5 件、電気学会から 2 件の発表件数があったとの説明がなされた。

### **5. 2019 年度総合大会エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について**

黒木幹事より、資料 No.104-6 に基づき、学生奨励賞候補者の推薦について報告がなされた。本推薦は筆頭著者でかつ発表者の学生 7 人に対して 1 人推薦でき、今年は 9 件の発表があったため 2 人の推薦を行ったとの説明がなされた。

### **6. 2019（令和元）年度電磁界理論研究専門委員会活動計画**

渡辺幹事より、資料 No.104-7 に基づき、2019 年度の電磁界理論研究専門委員会活動計画について説明がなされた。7 月の光・電波ワークショップでは、MW、EST、OPE、MWP、EMT、THz の共催で、EMT からの投稿数は 7 件（通信学会から 5 件、電気学会から 2 件）の予定であることが報告された。

9 月のソサイエティ大会では、通常セッションに加え、シンポジウムセッションが計画されており、テーマ「周期構造中の電磁界」は幅広くとらえ、投稿していただくよう呼びかけられた。

11 月の電磁界理論シンポジウムは武雄温泉ホテル「春慶屋」で開催される予定であるとの説明がなされた。特別講演（資料内の日時 10 月 8 日は 11 月 8 日の誤り）は 2 件の講演が計画されているとの説明がなされた。

1 月の合同研究会は MWP、PN、EMT の共催で開催され、併催の IEEE PS 関西チャプターからは特別講演が 1 件の予定であること、セッション構成は研専別にはならない予定であるとの説明がなされた。

3 月の総合大会で開催するシンポジウムセッションのテーマについては、今後アイディア・提案を受け付けるとの説明がなされた。

来年 5 月の研究会・編集委員会は関東地方での開催を計画しているとの説明がなされた。

## 7. 2021 年以降の 1 月合同研究会（光関係合同研究会）について

平山副委員長より、資料 No.104-8 に基づき、2021 年度以降の 1 月合同研究会について説明がなされた。1 月合同研究会への参加を継続するか、3 月の合同研究会で議論され、その中で EMT の研究会の最低開催回数について調査することになり、継続審議となっていた。近年の発表件数が減少していること、通信学会 EMT の最低開催回数は年 3 回、電気学会 EMT は定められていない（資料 No.2019-ETC2-1 参照。現在の電気学会 EMT の年間開催回数は技術委員会の中でも中間ほど）という調査結果を踏まえ、

- (1) 2021 年以降も継続して参加する
- (2) 合同研究会に参加せず、EMT 単独で開催する
- (3) 1 月は研究会を開催しない

という 3 案が提案された。

鈴木幹事（PEM 副委員長を兼任）によると、PEM の 1 月合同委員会の参加についてはまだ決まっておらず、6～7 月の PEM 委員会で議論される予定であることが述べられた。他の意見として、

- 2018 年度は関西方面の方の発表がたまたま少なく、今後また発表件数は回復する可能性があるため、発表件数の推移をもう少し見た方が良いこと、
- 合同研究会の中で研専別にセッションが組まれており、プログラム構成を見直すことで研専間のインタラクションを強め、合同研究会の意義を見出せるような改善を行って様子を見る、
- 研究会の参加者で予算が決まる場合、合同研究会の方が多くの出席者が集まる
  - ▶ エレソでは、研究会の出席者は予算に影響ないが、発表者数が技報の値段に影響する（技報電子化により変更されつつある）。電気学会では出席者を学会に報告するが、予算には反映されない。
  - ▶ 1 月合同研究会を脱退した研専はエレソであり、出席者数が予算に影響しないことも脱退の理由の一つになっている可能性がある
- 5 月は関東、7 月は北海道、11 月は全国、1 月は関西で開催されており、1 月研究会は場所的にも丁度良く、今すぐ開催をやめる必要はない

という意見が出され、今後も合同委員会に参加を継続する結論に至った。

## 8. 令和元年度電磁界理論研究専門委員会構成

渡辺幹事より、資料 No.104-9 に基づき、令和元年度の専門委員会構成について説明がなされた。北見工大の平山副委員長が新委員長に就任、同志社大の出口氏が副委員長に就任、首都大の鈴木氏が新幹事に就任、名古屋大の飯盛氏が新委員に就任、日大の尾崎氏が新委員に就任、黒木幹事が幹事を退任し新委員に就任、長崎大の森山氏が新委員に就任予定であることが報告された。以上の新構成員は 6 月 6 日の会議で決定する予定であるとの説明がなされた。

## **電気学会 電磁界理論技術委員会 議事**

### 9. 電気学会電磁界理論技術委員会の研究会開催回数について

本合同委員会の議題 7 で、電気学会 EMT の年間最低開催回数の参考資料として参照された。

### 10. EMT シンポジウム特別講演の講師について

後藤委員長より、資料 No.2019-ETC2-2 に基づき、第 48 回電磁界理論シンポジウムの特別講演の講師の決

定について報告がなされた。香蘭社は電気学会から顕彰されており、碍子の製造がかつて盛んであったこと（現在は高級食器の製造）、テレビ番組で紹介されている。講師は(株)香蘭社の竹下昌章氏で、本人の了解も得られているとの説明がなされた。

#### 11. 2019年度 電気学会電磁界理論技術委員会名簿

後藤委員長より、資料 No.2019-ETC2-3 に基づき、2019年度の電磁界理論技術委員会の構成員について説明がなされた。室蘭工大の川口氏が新委員に就任、都立産技高専の黒木氏が新幹事に就任、九産大の松岡氏が新幹事補佐に就任したとの報告がなされた。

#### **その他**

渡辺幹事より、2020年3月の総合大会でのシンポジウムセッションのテーマについて提案が呼びかけられた。現在、電磁気学の教育について会誌に掲載予定の記事を執筆予定であり、丁度関心が高まる来年3月に教育に関するテーマで開催する提案がなされた。

続いて、新しい企画として学生を対象とした表彰の企画ができないか議論がなされた。総合大会、ソサイエティ大会の企画セッションの枠で、特別講演も兼ねた表彰にすれば可能であるとの提案がなされた。

後藤委員長より電気学会A賞、A部門賞について、若手研究者の発表申込時に、35歳以下で選奨の対象であることを申告していないため選奨の対象になっていない発表者がいることが述べられた。申込時は忘れずに申告して頂きたい旨述べられた。

11月のシンポジウムのアナウンスは、例年では7月にアナウンスされ、9月上旬に申込締め切り、10月上旬に原稿提出締め切りとなっている。助成金の関係で早めに宿泊数分かるように、シンポジウムの1ヵ月程度前に宿泊の申込締切を早めた方が良いとの提案がなされた。助成金は武雄市内のホテルの宿泊数で判断されるため、宿泊についてアンケートを取ったほうがよいとの提案もなされた。